

《履修上の留意事項》・開講日が変則であるため、演習の具体的な運営に関しては、配付される日程表等を参照すること。
 ・各単元のワークシートは、教員の指示にしたがって実施し提出すること。

《担当者名》 内ヶ島 伸也 ucci@hoku-iryu-u.ac.jp 船橋 久美子 若濱 奈々子 山田 律子
 岡橋 智恵(衛)

【概要】

老年看護学演習は、「老年看護学」「老年病態と看護」で学んだ知識をふまえ、事例を使った看護過程の展開や技術演習、ディスカッションを積み重ねながら、高齢者の生活に必要なケアの考え方や支援方法を学ぶ。

【学修目標】

1. 加齢や疾病が生活機能におよぼす影響を事例をもとにアセスメントし、看護の方向性を導くことができる。
2. 高齢者の状態に合わせた支援方法を考え、実施できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 看護過程の展開	老年看護学演習の進め方と看護過程の事例を理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
2	看護過程の展開	情報の整理と分析の方法を理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
3	看護過程の展開	情報の整理と分析の方法を理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
4	看護過程の展開	情報の分析から関連図作成までの方法を理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
5	看護過程の展開	関連図を作成する意義と方法を理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
6	看護過程の展開	関連図から看護計画立案までの方法を理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
7	看護過程の展開	看護計画の立案と評価の方法を理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
8	高齢者の生活支援	コミュニケーションの支援 認知症をもつ高齢者とのコミュニケーションの特徴と方法 を理解する	船橋、内ヶ島、若濱、山田
9	高齢者の生活支援	食事の支援 高齢者の状態をふまえた食事の支援方法を理解する	山田、植木、岡橋、内ヶ島、船橋、若濱
10	高齢者の生活支援	食事の支援 高齢者の口腔ケアの方法を理解する	植木、岡橋、山田、内ヶ島、船橋、若濱
11	高齢者の生活支援	排泄の支援 高齢者の状態をふまえた排泄の支援方法を理解する	土屋隼人(特別講師)、内ヶ島、船橋、若濱、山田
12	高齢者の生活支援	排泄の支援 おむつ体験を通して高齢者の排泄支援を考察する	土屋隼人(特別講師)、内ヶ島、船橋、若濱、山田
13	高齢者の生活支援	高齢者の生活史をふまえた支援 高齢者の生活史を聞き、人生や老いの理解を深める 生活史に基づく個別性のある支援の重要性を理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
14	高齢者の生活支援	活動の支援 高齢者の状態をふまえた活動の支援方法を理解する	若濱、内ヶ島、船橋、山田
15	まとめ	老年看護における看護過程のポイントを整理する 高齢者の生活支援で重要な考え方を整理する	内ヶ島、船橋、若濱、山田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ワークシート50%、定期試験50%

【教科書】

山田律子・内ヶ島伸也(編)「生活機能からみた老年看護過程」第4版 医学書院, 2020.

北川公子他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第9版 医学書院, 2018.

【備考】

- ・授業時間中にGoogle Formsを活用して、学生相互の意見交換や理解度の確認を行う。

【学修の準備】

- ・各回の演習内容に関連する「老年看護学」と「老年病態と看護」の資料も確認しながら、事前課題に取り組むこと（1時間）。
- ・授業後に提示した課題に取り組むこと（1時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

- DP2. 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
- DP4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

内ヶ島伸也(看護師)、船橋久美子(老人看護専門看護師)、若濱奈々子(看護師)、山田律子(看護師、日本摂食嚥下リハビリテーション認定士)、植木沢美(歯科衛生士)、岡橋智恵(歯科衛生士)、土屋隼人(皮膚・排泄ケア認定看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

高齢者看護の実務経験に基づき、臨地実習に必要な最新かつ実践的知識・技術を教育する。とくに、「食事の支援」は歯科衛生士が、「排泄の支援」は皮膚・排泄ケア認定看護師がそれぞれ講義を担当し、実践的な教育を行う。